

厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会¹ ワクチン評価に関する小委員会）

日時：令和6年1月24日（水） 10：30－12：30

「おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する 全国調査」の結果について

日本小児科学会 予防接種・感染症対策委員会

日本医療研究開発機構（AMED）研究班

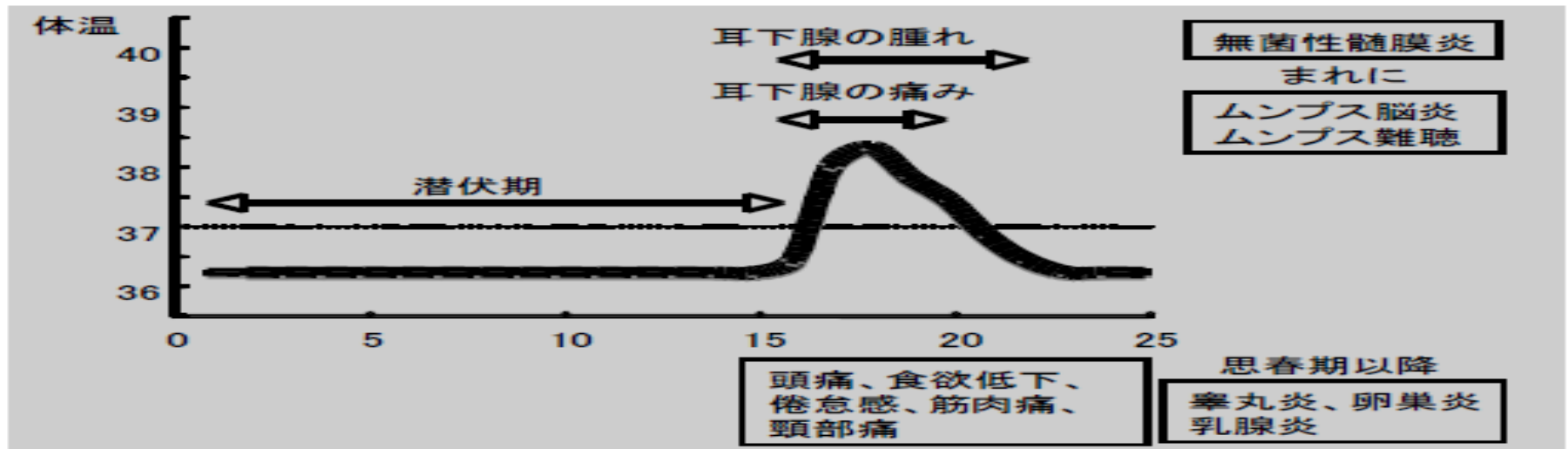
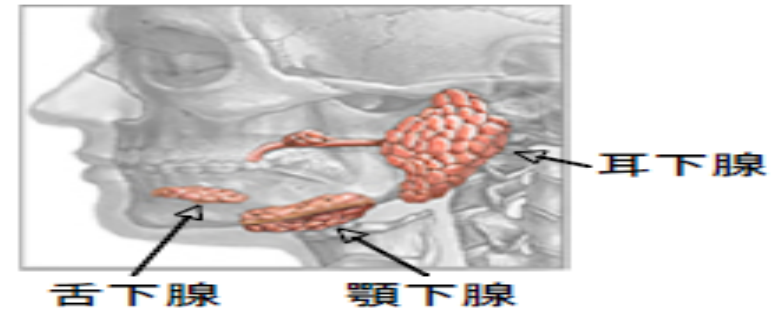
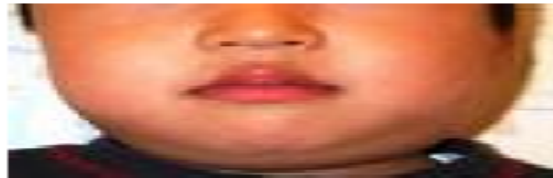
AMED鈴木班（新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業研究開発課題名

ワクチンで予防可能な疾病のサーベイランス及びワクチン効果の評価に関する研究）

AMED菅班（新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業研究開発課題名

ワクチンの実地使用下における基礎的・臨床的研究及びワクチンの評価・開発に資する研究）

図1 おたふくかぜの臨床症状



国立感染症研究所 おたふくかぜワクチンに関するファクトシートより

流行性耳下腺炎（ムンプス、おたふくかぜ）

主症状 合併症

唾液腺（耳下腺, 顎下腺, 舌下腺）の腫れ、圧痛・発熱
感音性難聴（多くは不可逆性）（0.1～0.25%）

無菌性髄膜炎（1～10%）

脳炎（0.02～0.3%）

精巣炎（思春期以降20～40%）

卵巣炎（5%）

膵炎

心筋炎

腎炎

不顕性感染

約30% 乳児に多い 感染の拡大に寄与

・おたふくかぜワクチンファクトシート

・IASR 特集 流行性耳下腺炎（Vol. 37：2016年10月号）

・Shih-Bin Su et al. *Int J Environ Res Public Health*. 17(5):1686, 2020.

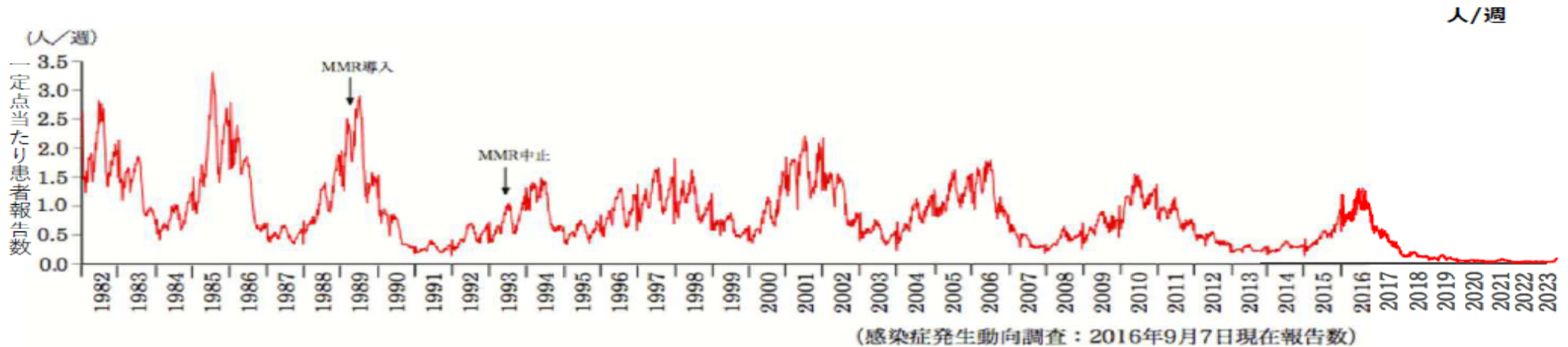
ワクチン接種前時代とワクチン接種後時代の流行性耳下腺炎の発生率の比較

国	ワクチン接種前		ワクチン接種後	
	年	年間発生率（10万人あたり）	年	年間発生率（10万人あたり）
米国	1967年	100	1993年	<0.1
デンマーク	1979年	726	1995年	1
フィンランド	1982年	43	1995年	<0.1
スロベニア	1979年	410	1995年	4
クロアチア	1985年	101	1995年	12
フランス	1986年	859	2011年	9
英国	1985年	40	1995年	5
東ドイツ	1986年	155	2016年	0.62
イスラエル	1985年	102	1995年	10
タイ	1996年	20~70	1997年	10~30
韓国	1961年	> 15,000	1981年	<10
オーストラリア	1969年	59,000	2002年	60
台湾	1992年	10	2006年	1.3

Shih-Bin Su et al. Int J Environ Res Public Health. 17(5):1686, 2020.

流行性耳下腺炎 小児科定点あたり報告数の推移 (1982年～2023年第24週)

約4～6年周期で増減を反復



2005年 推定罹患者 135.5万人
(95%CI : 127.2～144.0万人)

2007年 推定罹患者 43.1万人
(95%CI : 35.5～50.8万人)

IASR 特集 流行性耳下腺炎 (Vol. 37 : 2016年10月号) 図一部改変

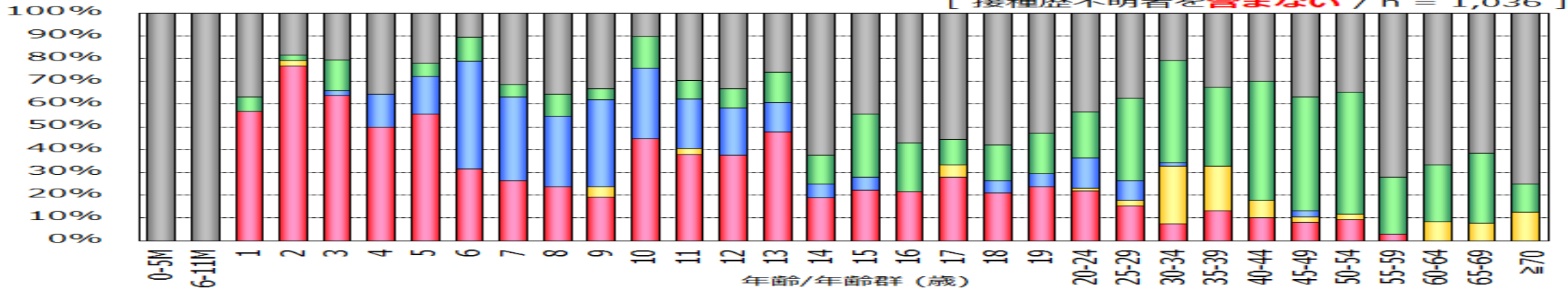
令和5年度予防接種リサーチセンター主催予防接種従事者研修会：国立感染症研究所資料
<https://www.yoboseshu-rc.com/pages/43/#block196>より引用抜粋

年齢/年齢群別のおたふくかぜワクチン接種状況, 2022年 ^{※1}

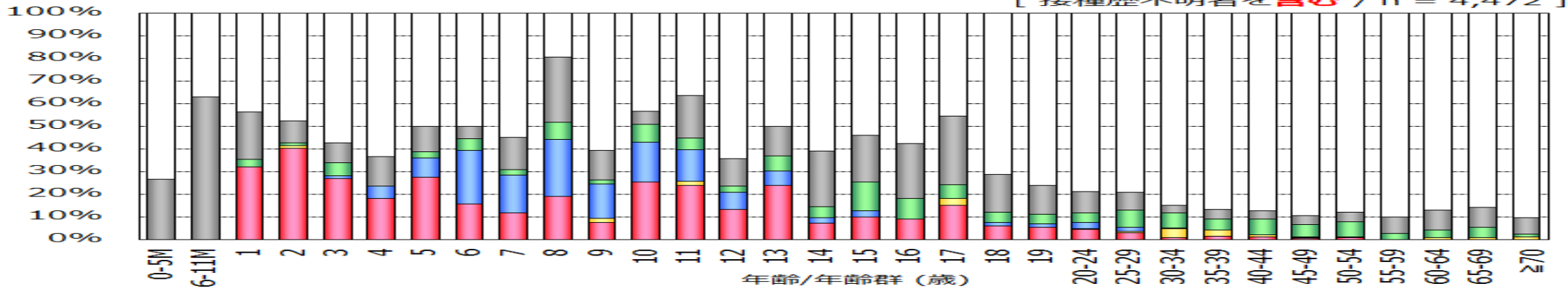
～ 2022年度感染症流行予測調査より ～

※1 2023年4月現在暫定値

[接種歴不明者を含まない / n = 1,036]



[接種歴不明者を含む / n = 4,472]



■ 1回接種者 [Mu] [n=266]
■ 1回接種者 [MMR] [n=42]
■ 2回接種者 [Mu+Mu] [n=92]
■ 種類・回数不明接種者 [n=229]
■ 未接種者 [n=407]
□ 接種歴不明者 [n=3,436]

※Mu : おたふくかぜワクチン / MMR : 麻疹おたふくかぜ風疹混合ワクチン

流行予測2022

おたふくかぜワクチンに関する審議経過

おたふくかぜワクチンの審議経過について

2010年7月	国立感染症研究所により、おたふくかぜに関するファクトシートが作成された。
2011年1月	第4回 予防接種部会ワクチン評価に関する小委員会において、おたふくかぜワクチン作業チーム報告書が報告された。
2012年5月	予防接種制度の見直しについて（第二次提言）の中で、広く接種を促進していくことが望ましいワクチンの一つとされた。
2013年7月	第3回予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会において、「仮に広く接種をするに当たっては、より高い安全性が期待できるワクチンの承認が前提であり、新たなMMRワクチンの開発が望まれる。」とされた。
2013年10月	第5回研究開発及び生産・流通部会において、「MRワクチンを含む混合ワクチン」が開発優先度の高いワクチンの一つに定められた。
2013年12月	日本ワクチン産業協会の会員企業に対し、MRワクチンを含む混合ワクチンの開発要請を行った。
2016年7月	第12回研究開発及び生産・流通部会において、MMRワクチンなど開発優先度の高いワクチンに係るヒアリング状況が報告された。
2017年9月	日本耳鼻咽喉科学会より、ムンプス難聴に関する全国調査の結果が公表された。
2017年12月	第20回予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会において、日本耳鼻咽喉科学会の調査結果について報告した。
2018年5月	予防接種推進専門協議会から、「おたふくかぜワクチンの定期接種化に関する要望書」が提出された。
2018年5月	第8回ワクチン評価に関する小委員会において、第9回小委員会で、日本耳鼻咽喉科学会および予防接種推進専門協議会からのヒアリングを行うと共に、MMRワクチンを開発しているメーカーから事務局がヒアリングした上で公表可能な情報の整理を行い、報告することが了承された。
2018年6月	第9回小委員会で、日本耳鼻咽喉科学会および予防接種推進専門協議会からのヒアリングを行った。
2018年9月	第11回小委員会で、 <u>ムンプス難聴を含めたおたふくかぜの疾病負荷、おたふくかぜワクチンによる無菌性髄膜炎の発生頻度、今後、明らかにするエビデンスについて議論が行われた。</u>
2020年1月	第15回小委員会で、現在のおたふくかぜワクチン接種後の無菌性髄膜炎の発生頻度と重症度、1歳児やより年少児に接種した場合の無菌性髄膜炎の発生頻度、既存の単味ワクチンについて議論

第15回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会（令和2年1月17日開催資料2）より引用一部追記

背景と経緯

おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査

公益社団法人 日本小児科学会 / 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) 研究班

おたふくかぜワクチン接種後の
無菌性髄膜炎の発症率

- (独) 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) への副反応疑い報告

平成25年4月1日～令和5年6月30日

(髄膜炎275人、髄膜脳炎・脳炎・脳症65人、ADEM9人：合計349人)

1,365万6,686人接種

$$= \frac{1}{39,131 \text{ 接種}} = 0.0026\%$$

第98回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和5年度第11回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催） 資料 令和5年10月27日

- 薬剤添付文書 (21,465例による)

$$= \frac{1}{1,600 \sim 2,300 \text{ 接種}} = 0.043 \sim 0.063 \%$$

約17～24倍の差

ワクチンの定期接種化を検討するための資料とする目的で

10万人～20万人規模の前向き調査が必要



おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する全国調査

- 日本小児科学会とAMED鈴木班、AMED菅班の共同で**おたふくかぜワクチンの定期接種化を検討するための参考資料とすることを目的**として、国産おたふくかぜ単味ワクチン接種後の副反応が疑われる症状に関して多数例についての大規模調査研究を実施
- おたふくかぜワクチン接種後の無菌性髄膜炎の発症頻度は、PMDAへの報告では「約4万接種あたり1件」であるのに対して、薬剤添付文書に記載されているのは「1,600～2,300人接種あたり1人程度」
- 国での定期接種化の議論の中では、「**10万人から20万人の前向き調査が必要**」とされた
- 本研究は接種後の副反応の有無を把握する一次調査と、一次調査で副反応を疑う症状が出た症例の詳細な検討のための二次調査による二段階調査からなる。

対象と方法

- 全ての日本小児科学会会員に当調査を周知し、協力を依頼する
- 2020年1月1日から2023年3月31日までに医療機関でおたふくかぜワクチンを接種した、1歳以上小学校就学前の者を対象とする
- 研究実施期間は、理事会承認日（2020年12月15日）から2024年3月31日まで
- おたふくかぜワクチンの接種を実施している日本小児科学会会員の医療機関にて調査を行い、予防接種・感染症対策委員会およびAMED 菅班（研究開発課題名：ワクチンの実地使用下における基礎的・臨床的研究及びワクチンの評価・開発に資する研究）、AMED 鈴木班（研究開発課題名：ワクチンで予防可能な疾病のサーベイランスとワクチン効果の評価に関する研究）の研究メンバーが所属する施設で解析や検討を実施する

一次調査

オプトアウトによる副反応疑い症状の有無の把握調査

- Web 調査で情報を収集し解析する
- 調査項目は、被接種者の年月齢、性別、接種日、ワクチン製剤の種類、接種回数、接種4週間後および8週間後の健康状態、副反応が疑われる症状発現時はその状況、同時接種ワクチンの有無とその種類
- 接種4週間後および8週間後の健康状態チェックは電話による確認も許容する
- 接種4週間後および8週間後の健康状態確認が未入力の症例については、調査協力医宛てに事務局からリマインドメールを月1回送信する

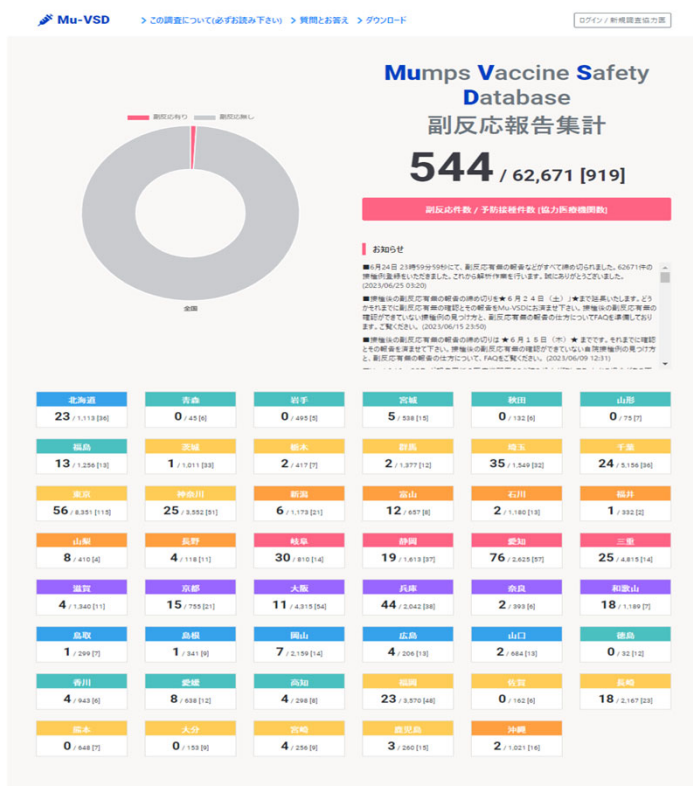
※ 接種後8週目までの症状を対象とした理由：おたふくかぜワクチンは生ワクチンであるため、接種後にワクチン株（ウイルス）は被接種者に感染し、体内で複製されるが、接種後4～6週間経過すると、被接種者の中にムンプスウイルスに対する免疫が獲得され、ワクチン株（ウイルス）の複製は抑制される。以上のことから、8週目以降に出現した症状は、おたふくかぜワクチンとは関連のない症状と考えられるため、本調査の対象とはしない。

一次調査

- 収集された情報は速やかに調査用ウェブサイト反映され、グラフ等により登録状況や副反応出現頻度が確認できます。
- また、後日データベースを解析し、おたふくかぜワクチン定期接種化の検討資料として、国の審議会等で活用されます。

(図1) おたふくかぜワクチン被接種例情報の収集に特化したWeb¹³サイト「Mumps Vaccine Safety Database (Mu-VSD)」

URL : <https://mumps.children.jp>



接種例登録

おたふくかぜワクチン接種例入力画面

【入力】 → 【確認】 → 【完了】

調査協力医: エバー管理1 エバー小児科

被接種者情報

保護者におたふくかぜワクチン接種者IDを入力して下さい。QRコードを利用せずに、電話などで保護者から副反応を確認する場合は、接種者IDの「新規作成」をクリックして下さい。

被接種者ID: DFDC ※有効な「被接種者ID」と確認出来ました!

接種日: 2021/3/15 入力例:20180115 または 2018/1/15

接種時年齢: 2歳 3か月

性別: 男 女

本接種の回数

※11期相当の年齢で初めて接種されても「1回目」を選んでください。

1回目 2回目 3回目以上

接種ワクチンメーカー

武田薬品 第一三共

メモ ※400字以内

メモがある場合は入力してください。

確認ページへ進む

4週間後副反応報告

一括に戻る

おたふくかぜワクチン接種後副反応入力画面

【入力】 → 【確認】 → 【完了】

調査協力医: エバー管理1 (エバー小児科)

被接種者情報

被接種者ID: KTYV

接種日: 2021/02/01 接種時年齢: 1歳 10か月 性別: 男

本接種の回数: 1回目 ワクチンメーカー: 武田薬品

メモ

4週間後副反応報告

接種4週間後の時点での健康状態: 健康 健康ではない 取り消す

接種4週間の入院の有無: なし あり 取り消す

※「健康」と「なし」を選択することで「副反応なし」扱いとなります。

※「同時に接種したワクチン」は副反応ありの場合だけの入力かまいません。

同時に接種したワクチン: なし あり 取り消す

※「あり」の時、右から選択 MRワクチン 水痘 その他

接種4週間に発症したエピソード:

無菌性髄膜炎 脳炎・脳症 耳下腺炎・顎下腺炎 精巣炎・卵巢炎 難聴 急性肝炎

詳細を記載: ※400文字以内

確認ページへ進む

※ 8週間後副反応報告も同じ項目で調査

【二次調査】：副反応が疑われる症状を認めた症例の症例登録研究

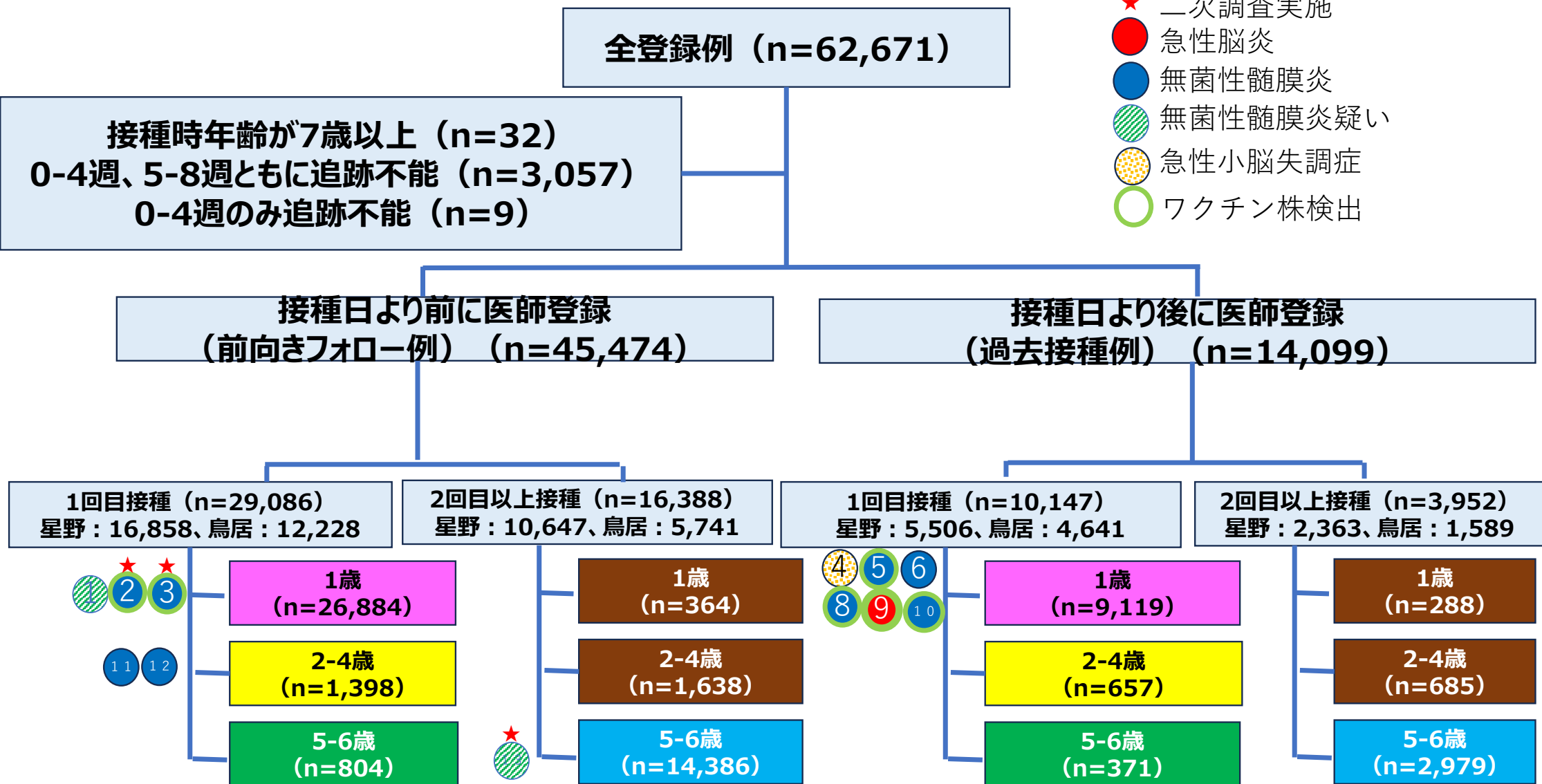
- おたふくかぜワクチン接種後に副反応が疑われる症状を認めた症例については、おたふくかぜワクチンとの因果関係をより詳しく検討するために、
 - ①臨床症状の経過
 - ②検査所見
 - ③重症度と予後
 - ④ウイルス学的検討
 - ⑤接種したワクチンのロット番号等について、さらに詳細な項目の調査を行います。
- 副反応が疑われる症状を認めた症例については詳細登録の際には、保護者に対して改めて文書によるインフォームド・コンセントの取得をお願いいたします。

要旨

- おたふくかぜワクチン接種8週間後までの副反応が疑われる症状に関して、原則として、接種医師を対象にWebにて情報収集を行った。ワクチンの接種期間は、2020年1月1日から2023年3月31日までとし、接種の対象は1歳以上就学前の小児とした。前向きに8週間フォローできた44,708例のうち、無菌性髄膜炎発生例は6例（疑い例2例を含む）で、頻度は10万接種あたり13.4であった。頻度は低いものの、急性脳炎、けいれん重積を認めた症例もあった。症状出現時の検体を収集できた無菌性髄膜炎（疑い例1例を含む）3例について病原体診断を実施したところ、2例からおたふくかぜワクチン株遺伝子が検出され、うち1例からワクチン株ウイルスが分離された。頻度の解釈には十分留意する必要があるが、ムンプス罹患後の無菌性髄膜炎の発生頻度に比べると低いものの、1回目接種後には、頭痛、嘔吐などの髄膜炎を疑う症状が一定の頻度で発生していたこと、無菌性髄膜炎6例（疑いを含む）のうち5例が1回接種後に発生していたことから、特に1回目接種を実施する際は、注意が必要である。

接種後4週間フォローできた接種例の副反応疑い調査

- ★ 二次調査実施
- 急性脳炎
- 無菌性髄膜炎
- 無菌性髄膜炎疑い
- 急性小脳失調症
- ワクチン株検出



接種後8週間フォローできた接種例の副反応疑い調査

- ★ 二次調査実施
- 急性脳炎、髄膜炎
- 無菌性髄膜炎
- 無菌性髄膜炎疑い
- 急性小脳失調症
- 急性脳症・RSウイルス肺炎
(主治医は副反応は否定的と記載)
- ワクチン株検出

全登録例 (n=62,671)

接種時年齢が7歳以上 (n=32)
 0-4週、5-8週ともに追跡不能 (n=3,057)
 0-4週のみ追跡不能 (n=9)
 5-8週のみ追跡不能 (n=790)

接種日より前に医師登録
 (前向きフォロー例) (n=44,708)

接種日より後に医師登録
 (過去接種例) (n=14,075)

1回目接種 (n=28,563)
 星野: 16,601、鳥居: 11,962

2回目以上接種 (n=16,145)
 星野: 10,483、鳥居: 5,662

1回目接種 (n=10,132)
 星野: 5,500、鳥居: 4,632

2回目以上接種 (n=3,943)
 星野: 2,356、鳥居: 1,587



1歳
 (n=26,407)

2-4歳
 (n=1,368)

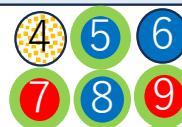
5-6歳
 (n=788)



1歳
 (n=359)

2-4歳
 (n=1,601)

5-6歳
 (n=14,185)



1歳
 (n=9,104)

2-4歳
 (n=657)

5-6歳
 (n=371)

1歳
 (n=288)

2-4歳
 (n=685)

5-6歳
 (n=2,970)

髄膜炎、脳炎等の記載があった14症例の詳細

	接種時年齢	性別	接種回数	接種年月	接種医登録と調査	概要	二次調査症例	ワクチン株検出の有無	入院の有無	同時接種	同時接種ワクチン
1	1歳0か月	男	1回目	2022年10月	前向きフォロー	25日目から5日間発熱、嘔吐6回、項部硬直なし、ケルニツヒ兆候なし、全身状態が良好で嘔吐もすぐに治まったので、外来経過観察、 無菌性髄膜炎疑い(髄液検査未実施)			なし	あり	MR,水痘
2	1歳0か月	男	1回目	2023年3月	前向きフォロー	19日目から発熱、その後痙攣群発で入院、 無菌性髄膜炎 の診断、入院	★	●	あり	あり	MR,水痘,その他
3	1歳1か月	男	1回目	2023年3月	前向きフォロー	20日目、後頭部打撲、その後発熱、嘔吐、21日目熱性けいれん、22日目も熱性けいれんあり、 無菌性髄膜炎 の診断で入院	★	●	あり	あり	MR,水痘,その他
4	1歳2か月	女	1回目	2021年11月	過去接種例	23日目から嘔吐、立位困難、座位困難で入院、28日目には座位、立位可能となり退院、 急性小脳失調症 の診断			あり	あり	その他
5	1歳2か月	女	1回目	2020年9月	過去接種例	16日目から発熱、嘔吐、18日目に入院、髄液細胞数増加あり、 無菌性髄膜炎 の診断		○	あり	なし	
6	1歳3か月	男	1回目	2021年12月	過去接種例	16日目から発熱、嘔吐で入院、 無菌性髄膜炎 の診断		※	あり	なし	
7	1歳4か月	男	1回目	2021年11月	過去接種例	30日目から発熱、嘔吐、意識障害で入院、髄液細胞数増加あり 髄膜脳炎 の診断、明らかな神経学的後遺症は認めなかった		○	あり	あり	MR,水痘
8	1歳7か月	男	1回目	2021年6月	過去接種例	21日目から発熱、嘔吐、24日目に紹介入院、 無菌性髄膜炎 と診断		○	あり		
9	1歳9か月	男	1回目	2020年5月	過去接種例	2週間後から発熱、けいれん重積、脳MRI検査：拡散強調画像にて左側頭葉-頭頂葉の皮質下白質に高信号の所見、 急性脳炎 の診断、接種8週間後も入院継続		○	あり	なし	
10	1歳10か月	女	1回目	2021年6月	過去接種例	18日目から発熱、嘔吐で20日目に紹介、入院。 無菌性髄膜炎 と診断		○	あり		
11	3歳2か月	男	1回目	2022年12月	前向きフォロー	18日目から頭痛、19日目から微熱あり、35分間の無熱性けいれんで入院、 無菌性髄膜炎 と診断されるが、細菌性髄膜炎、ヘルペス脳炎否定できず抗菌薬、抗ウイルス薬投与			あり	なし	
12	3歳8か月	男	1回目	2022年2月	前向きフォロー	18日目から発熱、頭痛で入院、 無菌性髄膜炎 の診断、2年前に脳腫瘍と診断され、フォロー中。			あり	なし	
13	6歳2か月	男	2回目	2023年1月	前向きフォロー	17日目から発熱、19日目から頭痛、20日目嘔吐、21日目軽度の項部硬直を疑われ紹介入院、22日目に両耳下腺腫脹が明らかになるも、翌日には改善、 無菌性髄膜炎疑い(髄液検査未実施)	★		あり	なし	
14	1歳0か月	男	1回目	2022年6月	前向きフォロー	29日目からけいれんで入院、けいれん重積で転院、16日間入院、 急性脳症・RSウイルス肺炎 の診断で 副反応は否定的と主治医記載 あり、その後後遺症なし			転院	あり	MR,水痘,その他

○調査研究医の施設にてワクチン株が検出、●国立感染症研究所においてもワクチン株が検出、※ワクチン株/野生株の鑑別は不明、ムンプスウイルス遺伝子陽性(LAMP法)

考察より一部抜粋：詳細は日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会報告をご参照ください

日本小児科学会誌2024年1月号に掲載：青字は小委員会用に頻度の表記を統一するために追記

- ワクチンによる無菌性髄膜炎発症率は、添付文書の記載によると0.1%未満（2,300人接種あたり1人程度：**10万接種で43.5程度**）（星野株），0.1%未満（1,600人接種あたり1人程度：**10万接種で62.5程度**）（鳥居株）
- Nagaiらは21,465例を対象とした前方視的観察研究において、ウイルス学的に証明されたワクチン接種後の無菌性髄膜炎発症率は、0.04%：**10万接種で40相当**（星野株），0.06%：**10万接種で60相当**（鳥居株）と報告
- Mutaらはこのデータを基にワクチン接種後の無菌性髄膜炎発症率について年齢群別に検討を行い、3歳未満では0.018%：**10万接種で18相当**，3歳以上では0.078%：**10万接種で78相当**であり、年長児接種の方が有意に高いことを示した（相対リスク4.35，95%信頼区間1.05～18.2， $p=0.04$ ）
- 中山らは、星野株ワクチン市販後調査報告に基づき、ワクチン接種後の無菌性髄膜炎の頻度は2014年以降では約3万接種で1例以下：**10万接種で3.3以下相当**と報告
- Kumihashiらは、医療機関および企業からの報告による医薬品副作用データベースを用いて調査を行い、2004～2015年における鳥居株ワクチン接種後の無菌性髄膜炎は10万接種で1.3から4.4であったと報告
- Ohfujiらは、企業からの副反応報告に基づく解析で、鳥居株ワクチン接種後の無菌性髄膜炎が、10万接種あたり7.90（1998～2000年）から2.78（2016～2018年）まで減少したと報告

考察より一部抜粋：詳細は日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会報告をご参照ください²⁰

日本小児科学会誌2024年1月号に掲載

- 今回の調査で4週間フォローできた59,573例における無菌性髄膜炎（8例）・急性脳炎（1例）・無菌性髄膜炎疑い（2例）の発生報告頻度は0.018%（10万接種あたり18.5）であった。
- 8週間フォローできた58,783例における無菌性髄膜炎（8例）・急性脳炎（1例）・髄膜脳炎（1例）、無菌性髄膜炎疑い（2例）の発生報告頻度は0.020%（10万接種あたり20.4）であった。
- 前向きに8週間フォローできた44,708例について検討すると、無菌性髄膜炎を発症した症例は4例、無菌性髄膜炎疑い2例で、急性脳炎・髄膜脳炎症例はなかった。疑い例2例を含めた無菌性髄膜炎発生報告頻度は0.013%（10万接種あたり13.4）、1歳児の1回目接種の発生報告頻度は0.011%（10万接種あたり11.4）であった。
- ムンプス罹患後の難聴の予後は不良であり、その発症リスクは極めて大きいことから、ムンプスの発症を予防するためのおたふくかぜワクチンは小児にとって重要なワクチンであると考えられる。一方、すべてのワクチンについて言えることであるが、接種後に一定の副反応が発生するリスクもある。日本小児科学会としては引き続きおたふくかぜワクチンの接種を推奨するとともに、接種について心配のある家族の意思決定の支援を行えるよう、家族と十分に相談し、おたふくかぜワクチン接種の意義を理解したうえで接種されるワクチンとなるように、引き続き努力していくことが重要であると考えられる。

研究体制

研究者	所属機関	研究者	所属機関
西藤成雄	西藤小児科こどもの呼吸器・アレルギークリニック	神谷 元	国立感染症研究所 感染症疫学センター
中野貴司	学校法人川崎学園川崎医科大学小児科学教室	奥山 舞	国立感染症研究所 感染症疫学センター
菅 秀	国立病院機構三重病院	三上純子	国立感染症研究所 感染症疫学センター
岡田賢司	福岡看護大学・福岡歯科大学医科歯科総合病院予防接種センター	森野紗衣子	国立感染症研究所 感染症疫学センター
中村 豊	医療法人社団 ゆたかこどもクリニック	高梨さやか	国立感染症研究所 感染症疫学センター
田中敏博	静岡厚生病院 小児科	新井 智	国立感染症研究所 感染症疫学センター
平島朋義	医療法人 社団永仁会 吉永医院・株式会社工バーメディカ	木所 稔	国立感染症研究所 品質保証・管理部
吉永治彦	医療法人 社団永仁会 吉永医院・株式会社工バーメディカ	鈴木 基	国立感染症研究所 感染症疫学センター
多屋馨子	神奈川県衛生研究所		

佐賀大学医学部原めぐみ先生に疫学的な視点から、ご指導をいただきました。
 日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会では、毎月1回、現状を報告して調査報告を行いました。



公益社団法人

日本小児科学会

Japan Pediatric Society

学会について

予防接種・感染症対策委員会

委員会メンバー

主担当理事 齋藤 昭彦 **副担当理事** 塚原 宏一、森岡 一郎

委員長 多屋 馨子 **副委員長** 宮入 烈

委員 天羽 清子、荒木かほる、石和田稔彦、大宜見 力、勝田 友博、神谷 元、
越田 理恵、高野 智子、津川 毅、富樫 篤生、中野 貴司、西村 直子、
野崎 昌俊、菱木はるか、保科 隆之、細矢 光亮、前田 明彦、水野 由美、
宮崎 雅仁、吉川 哲史、和田 泰三、

アドバイザー 岩田 敏、尾内 一信、岡田 賢司、是松 聖悟、菅 秀、宮崎千明、森内浩幸

被接種者登録医療機関・報告医（敬称略）

都道府県	所属	氏名	都道府県	所属	氏名	都道府県	所属	氏名
北海道	網走厚生病院小児科	梶野浩樹	茨城県	石岡第一病院 小児科	坪井龍生	千葉県	岩田こどもクリニック	深沢千絵
北海道	おひさまクリニック	須貝雅彦	茨城県	茨城西南医療センター病院小児科	長谷川誠	千葉県	おおた小児科	太田文夫
北海道	釧路赤十字病院小児科	仲西正憲	茨城県	牛久愛和総合病院 小児科	稲見由紀子	千葉県	大濱医院	大濱洋一
北海道	こどもクリニックはぐ	伊坂雅行	茨城県	神栖済生会病院	西村拓朗	千葉県	医療法人幸樹会おゆみのクリニック	高柳直子
北海道	小児科	真鍋博美	茨城県	けやきクリニック	飯田敏子	千葉県	かまたクリニック	鎌田恵子
北海道	小児科	丸山剛史	茨城県	さくらがわ地域医療センター 小児科	島村若通	千葉県	亀田総合病院	戸田壮一郎
北海道	市立稚内病院小児科	田丸英樹	茨城県	城西病院	白石裕比湖	千葉県	きくちこどもクリニック	菊地俊実
北海道	新得クリニック	一井雄二	茨城県	すずきクリニック	鈴木洋輝	千葉県	こどものためのくまクリニック	熊谷勇治
北海道	砂川市立病院	菊地成佳	茨城県	土浦協同病院なめがた地域医療センター	薄井香	千葉県	こんだこども医院	今田進
北海道	滝川市立病院	永井和重	茨城県	土浦協同病院	林大祐	千葉県	斎賀医院小児科	斎賀一
北海道	たくしん小児科	高柳健太	茨城県	野上小児科医院	野上哲夫	千葉県	そがこどもクリニック	田邊雄三
北海道	伊達赤十字病院小児科	林英蔚	茨城県	ふたばこどもクリニック	柴田徹	千葉県	たかはし内科小児科クリニック	高橋悠乃
北海道	とびせ小児科内科医院	飛世千恵	茨城県	古河赤十字病院	中島尚美	千葉県	たるいこどもクリニック幕張	垂井洋樹
北海道	とまこまいこどもクリニック	藤林伸助	茨城県	医療法人社団アィブイ会渡邊医院	渡邊由紀	千葉県	船橋青い空こどもクリニック	松本歩美
北海道	医療法人ながのクリニック	長野奈緒子	栃木県	医療法人社団翠光会 インタパーク小児科眼科	長谷川節子	千葉県	まなこどもクリニック	原木真名
北海道	函館中央病院	中島美佳	栃木県	おかべこどもクリニック	岡部一郎	千葉県	みんなのクリニック大久保	大久保摩利子
北海道	北海道立子ども総合医療・療育センター	浅沼秀臣	栃木県	福田こどもクリニック	福田哲夫	東京都	愛育クリニック	菅原憲子
北海道	市立稚内病院小児科	坪田朋佳	群馬県	おうみこどもクリニック	児嶋理子	東京都	愛育クリニック	溝口枝里子
青森県	せきばクリニック	関場慶博	群馬県	国立病院機構沼田病院	高橋比路美	東京都	総合母子保健センター愛育クリニック	近藤恵里
岩手県	岩手県立磐井病院	天沼史孝	群馬県	前橋協立病院	齋藤耕一郎	東京都	あきやま子どもクリニック	秋山千枝子
岩手県	岩手県立久慈病院	遠藤正宏	群馬県	南矢島こどもクリニック	時澤桂子	東京都	アクアキッズクリニック	高木虎太郎
宮城県	泉中央こどもクリニック	遠藤晃彦	埼玉県	あかちゃんこどものクリニック	田中秀朋	東京都	日本医科大学小児科／東京リバーサイド病院	海津聖彦
宮城県	いたのこどもクリニック	板野正敬	埼玉県	あいの会こばやしこどもクリニック	小林憲昭	東京都	伊皿子坂医院	河野克典
宮城県	柿崎小児科	柿崎周平	埼玉県	埼玉県済生会栗橋病院	西川愛子	東京都	うちやまこどもクリニック	内山浩志
宮城県	公立加美病院	黒羽根郁夫	埼玉県	さいたま中央クリニック小児科	菅原志保子	東京都	大久保駅前・林クリニック	林泰佑
宮城県	こん小児科クリニック	今公弥	埼玉県	佐藤小児科クリニック	佐藤敬子	東京都	医療法人社団おかの小児科	岡野周子
宮城県	まんてん堂こどもクリニック	佐藤宣貴	埼玉県	狭山厚生病院	岩村透	東京都	萩原医院	萩原温久
宮城県	ものうファミリークリニック	河野秀信	埼玉県	三愛会総合病院	管野未沙	東京都	かすえキッズクリニック	川上一恵
秋田県	雄勝中央病院	菊地済	埼玉県	新所沢クローバー小児科	亀田博美	東京都	風の子こどもクリニック	風張真由美
山形県	医療法人社団親愛会 中井こども医院	中井伸一	埼玉県	杉浦小児科	杉浦正俊	東京都	かるがもクリニック	宮原篤
山形県	日本海総合病院	篠崎敏行	埼玉県	鈴木こどもクリニック	鈴木敏雄	東京都	久我山病院小児科	柳下康博
福島県	いいつかファミリークリニック	飯塚敦夫	埼玉県	仙波内科医院	仙波枝里子	東京都	クリニックばんびいに	時田章史
福島県	いいもり子ども医院	飯森裕一	埼玉県	草加市立病院小児科	佐藤健	東京都	くろかわ小児科内科	諸富千英子
福島県	いがらしキッズクリニック	五十嵐悦雄	埼玉県	つむぎこどもクリニック	吉岡淑隆	東京都	慶應義塾大学病院小児科	新庄正宜
福島県	医療法人クラブトン 佐久間内科小児科医院	佐久間秀人	埼玉県	TMGあさか医療センター	小林真澄	東京都	神津小児科医院	神津玲子
福島県	とやのクリニック	山本喜代志	埼玉県	堀ノ内病院小児科	牛島廣治	東京都	さいわいこどもクリニック	平野静香
福島県	菜のはなこどもクリニック	片寄雅彦	埼玉県	峯小児科	峯真人	東京都	医療法人社団崎山小児科	崎山弘
福島県	にしごうキッズクリニック	三友正紀	千葉県	あべひろきこどもクリニック	阿部博紀	東京都	自由が丘メディカルプラザ	高嶋能文
福島県	福島赤十字病院小児科	清水裕美	千葉県	稲毛診療所	細山公子	東京都	自由が丘メディカルプラザ小児科	齋藤義弘
福島県	むかわクリニック	務川靖	千葉県	いのまたこどもクリニック	猪股弘明	東京都	小児科	似鳥嘉一

被接種者登録医療機関・報告医（敬称略）

都道府県	所属	氏名	都道府県	所属	氏名	都道府県	所属	氏名
東京都	仁小児科	村上仁彦	神奈川県	おのぼり小児科・アレルギー科クリニック	梅田陽	新潟県	西新潟中央病院	神経小児科
東京都	すがやこどもクリニック	菅谷明則	神奈川県	かたおか小児科クリニック	片岡正	新潟県	見附市立病院小児科	相澤悠太
東京都	鈴木小児科内科医院	鈴木理永	神奈川県	かるがも藤沢クリニック	江田明日香	新潟県	よいこの小児科さとう	佐藤勇
東京都	聖路加国際病院小児科	稲井郁子	神奈川県	川崎協同病院小児科	能城一矢	富山県	小栗小児科医院	小栗絢子
東京都	第二服部医院	宮内隆政	神奈川県	北里大学病院 小児科	高梨学	富山県	済生会高岡病院	笹原彰子
東京都	高井戸こどもクリニック	柳垣繁	神奈川県	くまのこキッズアレルギークリニック	岡本義久	富山県	富山大学小児科	種市尋宙
東京都	たからぎ医院	宝樹真理	神奈川県	けいゆう病院小児科	中崎寿隆	富山県	むらかみ小児科アレルギークリニック	村上巧啓
東京都	立川相互病院	奥野理奈	神奈川県	小西こどもクリニック	小西好文	富山県	八木小児科	八木信一
東京都	町立八丈病院	横山美貴	神奈川県	済生会横浜市南部病院小児科	齋藤千穂	石川県	浅ノ川総合病院小児科	中川裕康
東京都	帝京大学小児科	遠海重裕	神奈川県	さいとう小児科	齋藤綾子	石川県	金沢聖霊総合病院	梅曉子
東京都	伝通院クリニック	善積秀幸	神奈川県	さいとう内科小児科クリニック	齋藤美和子	石川県	金沢大学附属病院小児科	黒田文人
東京都	どうかん山こどもクリニック	松村有香	神奈川県	すこやかこどもクリニック	小野木恵子	石川県	斉藤小児科医院	斉藤建二
東京都	東京都立小児総合医療センター	舟越葉那子	神奈川県	田中小児科医院	榎井志保	石川県	市立輪島病院	野口和寛
東京都	東京臨海病院	志村直人	神奈川県	津崎小児科	津崎さゆ美	石川県	市立輪島病院小児科	竹村悠太
東京都	医療法人社団大坪会東都文京病院	水野葉子	神奈川県	中村小児科医院	中村千里	石川県	多賀クリニック	多賀千之
東京都	医療法人社団ナイズ	白岡亮平	神奈川県	ひまわりクリニック	杉山和子	石川県	とどろき医院	中村利美
東京都	ながさか小児クリニック	長坂裕博	神奈川県	藤田小児科	藤田伸二	石川県	中村小児科医院	中村英夫
東京都	なかじま整形外科小児科クリニック	中島由佳	神奈川県	二子新地ひかりこどもクリニック	久保田亘	石川県	のぞみ小児科医院	瀧猛浩
東京都	医療法人社団中野小児科内科	中野起久恵	神奈川県	星川小児クリニック	山本淳	石川県	山上小児科クリニック	山上正彦
東京都	にしじま小児科	西島由美	神奈川県	本牧バイサイドクリニック	諸富千英子	福井県	みやがわクリニック	宮川和彦
東京都	はやしクリニック	林泉彦	神奈川県	松岡医院	松岡誠治	山梨県	小瀬こどもクリニック	高野美紀子
東京都	林小児科内科医院	林紋子	神奈川県	南加瀬ファミリークリニック	滝澤憲一	山梨県	小児科	宮本直彦
東京都	東品川クリニック	平塚祐介	神奈川県	ゆめこどもクリニック	林毅陸	山梨県	横田内科小児科医院	原まどか
東京都	ひだまりクリニック	佐山圭子	神奈川県	横田小児科医院	横田俊一郎	長野県	長野県立阿南病院小児科	片桐麻由美
東京都	平木こどもクリニック	平木洋子	神奈川県	よこはまにしかげ小児科・アレルギー科	西影京子	長野県	長野県立こども病院	白井真規
東京都	細部小児科クリニック	細部千晴	神奈川県	医療法人社団渡部クリニック	渡部創	長野県	松本市立病院小児科	中田節子
東京都	ぼれぼれクリニック	三浦麻子	新潟県	太田こどもとアレルギークリニック	太田匡哉	岐阜県	揖斐厚生病院	伊藤貴美子
東京都	牧田総合病院小児科	辻祐一郎	新潟県	柏崎総合医療センター	太刀川潤	岐阜県	岩砂病院・岩砂マタニティ	高橋小裕美
東京都	町田市民病院	山口克彦	新潟県	かわさきこどもクリニック	川崎琢也	岐阜県	いわたキッズクリニック	岩田吉弘
東京都	町田市民病院	藤原優子	新潟県	坂内小児科医院	坂内優子	岐阜県	岐阜県総合医療センター	水野朋紀
東京都	松田医院	松田恭子	新潟県	佐渡総合病院	後藤文洋	岐阜県	県北西部地域医療センター国保白鳥病院小児科	松久雄紀
東京都	武蔵野総合クリニック	杉井京子	新潟県	佐渡総合病院小児科	布施理子	岐阜県	さとうファミリークリニック	岡田雅子
東京都	森下駅前クリニック	神坂京子	新潟県	庄司こども医院	庄司康寛	岐阜県	小児科	棚橋節子
東京都	やすだこどもクリニック	保田由喜治	新潟県	小児科桑島医院	桑島宏彰	岐阜県	矢嶋小児科小児循環器クリニック	矢嶋茂裕
東京都	早稲田たけのこクリニック	松下竹次	新潟県	長岡中央総合病院	皆川雄介	静岡県	足立耳鼻科クリニック	足立昌彦
東京都	和田小児科医院	和田紀之	新潟県	新潟県立新発田病院小児科	長谷川聡	静岡県	熱海所記念病院小児科	竹下英里
神奈川県	相原アレルギー科・小児科クリニック	相原雄幸	新潟県	新潟県立中央病院	須田昌司	静岡県	いしはま医院	石濱広美
神奈川県	上大岡こどもクリニック	佐藤和人	新潟県	新潟県立十日町病院	金山哲也	静岡県	磐田市立総合病院小児科	白井真美
神奈川県	海のこどもクリニック	海野寿美	新潟県	新潟大学小児科	齋藤昭彦	静岡県	ウィンザークリニックリゾート	兵藤寿美
神奈川県	おおそねクリニック	佐々木聡子	新潟県	国立病院機構新潟病院小児科	鈴木俊明	静岡県	お八幡医院	畔野清恵

被接種者登録医療機関・報告医（敬称略）

都道府県	所属	氏名	都道府県	所属	氏名	都道府県	所属	氏名
静岡県	かわづクリニック	鈴木和重	三重県	落合小児科医院	落合仁	大阪府	医療法人上善会にしじまファミリークリニック	西嶋加壽代
静岡県	げんきこどもクリニック	村山恵子	三重県	きのこどもクリニック	木平健太郎	大阪府	にしむら小児科	西村龍夫
静岡県	こどもクリニック中山医院	中山豊明	三重県	コスモスクリニック	小田幸子	大阪府	橋本こどもクリニック	橋本裕美
静岡県	静岡厚生病院	田所愛弓	三重県	近藤小児科医院	近藤久	大阪府	畑小児科	中篤子
静岡県	静岡市立清水病院小児科	上牧務	三重県	白子クリニック小児科	二井立恵	大阪府	医療法人愛賛会浜田病院	黒須英雄
静岡県	静岡赤十字病院小児科	大河原一郎	三重県	のむら小児科	野村豊樹	大阪府	文月会原医院	原統子
静岡県	白梅豊岡病院	渡邊千英子	三重県	まつだ小児科クリニック	松田正	大阪府	東大阪生協病院小児科	春本常雄
静岡県	聖隷富士病院小児科	京極敬典	滋賀県	淡海医療センター	森元まゆみ	大阪府	医療法人ふじおか小児科	藤岡雅司
静岡県	瀬川小児科アレルギー科医院	瀬川孝昭	滋賀県	大津赤十字病院	田中孝之	大阪府	べんぎんキッズクリニック	舟木克枝
静岡県	西村医院	淵上佐智子	滋賀県	くまだキッズ・ファミリークリニック	熊田知浩	大阪府	保坂小児クリニック	保坂泰介
静岡県	ばば小児科	馬場善朗	滋賀県	済生会滋賀県病院	中島亮	大阪府	星ヶ丘医療センター	田村玲子
静岡県	浜松医療センター小児科	宮本健	滋賀県	西藤小児科こどもの呼吸器・アレルギークリニック	西藤成雄	大阪府	村上小児科クリニック	村上道子
静岡県	まつばやしこどもクリニック	松林里絵	滋賀県	そうむらファミリークリニック	宗村純平	大阪府	むらた小児科	村田卓士
静岡県	吉永医院	田中敏博	滋賀県	長浜市立湖北病院	東野克巳	大阪府	臨床研究センター	香川雅一
静岡県	わんぱくキッズクリニック	野田昌代	滋賀県	のむら小児科	野村康之	兵庫県	青い鳥クリニック	河野紀子
愛知県	あさいクリニック	小林聖子	京都府	医療法人慧仁会禹小児クリニック	禹満	兵庫県	神戸医療生活協同組合いたやどクリニック	高木康子
愛知県	あさのこどもクリニック	浅野恵子	京都府	JCHO京都鞍馬口医療センター	森本佳子	兵庫県	いなだ小児科	稲田徹
愛知県	だいどうクリニック予防接種センター	久保田悠介	京都府	土仁会武田総合病院小児科	甲原貴子	兵庫県	うすく小児科クリニック	宇倉智裕
愛知県	おおのこどもクリニック	大野敏行	京都府	土井小児科	土井康生	兵庫県	大倉クリニック	大倉完悦
愛知県	春日井市民病院小児科	河邊太加志	京都府	ひがき小児科医院	樋垣諒	兵庫県	国立病院機構神戸医療センター	神田杏子
愛知県	クリニックちあき	松山温子	京都府	医療法人ふるかわ医院	古川裕	兵庫県	神戸市立医療センター中央市民病院小児科	鶴田悟
愛知県	公立陶生病院小児科	渡邊友紀子	京都府	三菱京都病院 小児科	長田加寿子	兵庫県	JCHO神戸中央病院	上田育代
愛知県	江南厚生病院こども医療センター	後藤研誠	京都府	医療法人もり小児科クリニック	森啓之	兵庫県	たかのこどもクリニック	高野智子
愛知県	医療法人ごきそレディスクリニック	小川麻子	京都府	山脇小児科	山脇保	兵庫県	辰己こどもクリニック	辰己和人
愛知県	小児科	岩佐充二	京都府	医療法人和松会六地藏総合病院	白井千晶	兵庫県	たにざわこどもクリニック	谷澤隆邦
愛知県	総合犬山中央病院小児科	川口敬以子	大阪府	医療法人医真会あかざわ小児科	赤澤英樹	兵庫県	はちわかこどもクリニック	八若博司
愛知県	だいどうクリニック	佐伯恵美子	大阪府	あわざこどもクリニック	田中篤志	兵庫県	兵庫医科大学病院	角田朋大
愛知県	だいどうクリニック	小早川雄介	大阪府	上野内科・小児科クリニック	上野弥奈	兵庫県	まえかわこどもクリニック	前川講平
愛知県	だいどうクリニック	露木友理	大阪府	大阪市立総合医療センター	天羽清子	兵庫県	医療法人社団まほし会真星病院	石井日出夫
愛知県	だいどうクリニック	角田優子	大阪府	おぎはらこども医院	荻原博美	兵庫県	真星病院小児科	佃和弥
愛知県	だいどうクリニック	宮尾成明	大阪府	医療法人昌貴会かわせ小児科	河瀬昌司	兵庫県	山崎こどもクリニック	山崎剛
愛知県	だいどうクリニック	古田有里子	大阪府	絹巻小児科クリニック	絹巻宏	兵庫県	山城小児科医院	山本千尋
愛知県	だいどうクリニック	田中大貴	大阪府	木村医院	木村佳代	兵庫県	ゆたかこどもクリニック	中村豊
愛知県	だいどうクリニック	清水陽	大阪府	くぼたこどもクリニック	久保田恵巳	兵庫県	公益財団法人甲南会六甲アイランド甲南病院	谷口裕章
愛知県	だいどうクリニック予防接種センター	中嶋枝里子	大阪府	清水こどもクリニック	清水一男	奈良県	すくすくこどもクリニック	西原信
愛知県	だいどうクリニック予防接種センター	磯部弘治	大阪府	市立ひらかた病院小児科	白數明彦	奈良県	たかつかこどもクリニック	高塚英雄
愛知県	名古屋市立大学附属東部医療センター	遠藤剛	大阪府	高丘医院	高丘将	和歌山県	赤ちゃんとこどものクリニックBe	番浩
愛知県	花田こどもクリニック	花田直樹	大阪府	医療生協ながほり通り診療所	田窪翔子	和歌山県	公立那賀病院	竹腰信人
愛知県	医療法人笑山臥風会緑の森こどもクリニック	張尚美	大阪府	にいつクリニック	新津建樹	和歌山県	みずこしこどもクリニック	菌部真里
三重県	ありまクリニック	有馬治美	大阪府	西川医院小児科	居原田安奈	和歌山県	和歌山県立医科大学付属病院紀北分院小児科	青柳憲幸

被接種者登録医療機関・報告医（敬称略）

都道府県	所属	氏名	都道府県	所属	氏名	都道府県	所属	氏名
和歌山県	和歌山生協病院	佐藤洋一	高知県	高知大学医学部小児思春期医学講座	長尾佳樹	長崎県	医療法人やなぎクリニック	柳忠宏
鳥取県	アロハこどもクリニック	遠藤充	高知県	高知赤十字病院	寺内芳彦	長崎県	医療法人わたなべ小児科医院	渡辺聡
鳥取県	岡空小児科医院	岡空輝夫	高知県	中村病院	武内可尚	熊本県	北野小児科医院	北野昭人
鳥取県	たなか小児科医院	田中清	福岡県	あおみ小児科医院	青見裕子	熊本県	球磨郡公立多良木病院	師井敏裕
鳥取県	ファミリークリニックせぐち小児科	瀬口正史	福岡県	いづかこども診療所	牟田広実	熊本県	くまもと江津湖療育医療センター	川瀬千晶
鳥根県	小林クリニック	小林綾女	福岡県	飯塚市立病院小児科	穂吉秀隆	熊本県	しまだ小児科	島田康
鳥根県	小児科	山根聖子	福岡県	いしざき小児科クリニック	黒川未佳	熊本県	やまむら小児科・内科	山村純一
鳥根県	町立奥出雲病院	前山昌隆	福岡県	内田こどもクリニック	長嶋貴子	大分県	伊藤小児科循環器科医院	伊藤晋一
鳥根県	ぼよぼよクリニック	田草雄一	福岡県	遠賀中間医師会おなが病院	北島直子	大分県	杵築市立山香病院	半田陽祐
岡山県	青山こども岡山北クリニック	浦山建治	福岡県	九州大学病院 小児科	本村良知	大分県	国東市民病院	加藤里絵
岡山県	あさき小児科	浅木秀樹	福岡県	医療法人健愛会健愛記念病院	溝口洋子	大分県	国東市民病院	安藤将太
岡山県	国立病院機構岡山医療センター小児科	森茂弘	福岡県	桜坂なかやまこどもクリニック	中山英樹	大分県	南由布クリニック	江口智子
岡山県	かたやま小児科クリニック	片山威	福岡県	小児科	黒川美知子	宮崎県	高千穂町国民健康保険病院	興沼知子
岡山県	川崎医科大学総合医療センター	田中孝明	福岡県	小児科・アレルギー科	杉村徹	宮崎県	たかやま小児科	高山修二
岡山県	川崎医科大学総合医療センター	中野貴司	福岡県	たきもとこどもクリニック	瀧本朋子	宮崎県	都農町国民健康保険病院	坂元幸子
岡山県	かんだ小児科医院	苅田総一郎	福岡県	津川診療所	津川信	宮崎県	のだ小児科医院	野田隆
岡山県	こどもクリニック青い鳥	逸見睦心	福岡県	とくなが小児科クリニック	徳永洋一	宮崎県	柳田クリニック	橋本淳一
岡山県	すくすくこどもクリニック	二階堂香織	福岡県	医療法人長井小児科医院	長井健祐	鹿児島県	いちちこどもクリニック	伊地知修
岡山県	三宅内科小児科医院	三宅真砂子	福岡県	ながとし小児科	永利義久	鹿児島県	大坪こどもクリニック	大坪修介
広島県	小児科	小吹芳訓	福岡県	福岡県済生会八幡総合病院	白山理恵	鹿児島県	産業保健メディカルクリニック	久保田裕章
広島県	小原赤十字病院	伊野泰輔	福岡県	福岡歯科大学医科歯科総合病院小児科	奥園清香	鹿児島県	竹ファミリー内科クリニック	竹夏樹
広島県	すくすくキッズクリニック	溝口信行	福岡県	福岡歯科大学小児科	沼田里奈	鹿児島県	徳之島徳洲会病院	太田栄理子
広島県	沼隈病院小児科	高橋寛吉	福岡県	国立病院機構福岡病院	沼田里奈	鹿児島県	枕崎こどもクリニック	中園伸一
広島県	東広島医療センター小児科	上野哲史	福岡県	藤野医院	藤野浩	鹿児島県	宮内クリニック小児科	平林雅子
広島県	広島市民病院小児科	西村志帆	福岡県	松本小児科医院	松本一郎	沖縄県	あさとこどもクリニック	安里義秀
広島県	ふじたこどもクリニック	藤田篤史	福岡県	医療法人もりたこどもクリニック	守田英子	沖縄県	ありんクリニック小児科	松田竹広
広島県	みやがわ小児科医院	宮河真一郎	佐賀県	町立太良病院	谷口一登	沖縄県	ぐしこどもクリニック	具志一男
山口県	かわむら小児科	河村一郎	佐賀県	ひよし小児科	日吉保彦	沖縄県	ソフィアクリニック	喜友名琢也
山口県	じんこどもクリニック	西村仁	佐賀県	医療法人むらかみ小児科	村上泰由	沖縄県	中部徳洲会病院	飯塚千紘
山口県	鈴木小児科医院	鈴木英太郎	長崎県	おおつかこども医院	大塚祐一	沖縄県	中部徳洲会病院小児科	新里勇二
山口県	たにむら小児科	谷村聡	長崎県	おの小児科医院	小野靖彦	沖縄県	名護療育医療センター附属育ちのクリニック	中村恭子
山口県	山口赤十字病院小児科	西郷謙二郎	長崎県	きのしたこどもクリニック	木下英一	沖縄県	医療法人もりやま小児科	盛山正則
徳島県	徳島市民病院小児科	岸揚子	長崎県	白井小児クリニック	永野清昭			
香川県	おざきこどもクリニック	尾崎貴視	長崎県	社会医療法人長崎記念病院	福永啓文			
香川県	小豆島中央病院小児科	山本真由美	長崎県	長崎県対馬病院	畑地耕次			
香川県	永井小児科医院	永井崇雄	長崎県	医療法人ひぐち小児科医院	樋口洋一			
愛媛県	上田小児科	上田誠	長崎県	医療法人ふくだこどもクリニック	福田友子			
愛媛県	愛媛医療センター	加賀城真理	長崎県	本川医院	大住元秀明			
愛媛県	西条中央病院小児科	田中真理	長崎県	水田小児科医院	水田舜助			
愛媛県	高橋こどもクリニック	高橋貢	長崎県	医療法人安井小児科医院	安井誠			

おたふくかぜワクチン接種後の副反応に関する調査

**被接種者のご登録をいただいた
先生方に深謝いたします。
どうもありがとうございました。**